

共にしあわせ産みだす党 日本共産党

# 市議団ニュース

第 1741 号 2015 年 2 月 1 日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 23-6023

## 第 6 次行政改革 根室市行財政改革プラン(案)

根室市は 2015 年度から 2024 年度まで 10 年間の「第 6 次行政改革 根室市行財政改革プラン 案」を作成しています。

根室市として今後、少子高齢化による人口減や低迷する市中経済情勢のなか、市税収入の増加を期待することは難しく、また市歳入で最も多い金額である地方交付税は国の財政事情から年々減額となっていくことが予想されています。

根室市はこれまでの行政改革により、職員数を大幅に削減し、また給与の独自削減なども昨年まで継続して実施するなどの努力により人件費を抑制してきました。しかし役所の仕事が減っているというわけではなく、国・道の権限移譲や防災減災をはじめとして行政の役割は多種多様化してきている状況です。

「最小の費用で最大の効率を図る」とは、これまで一般的に言われていることですが、今の社会情勢ではそれだけでは足りず、人が少ない

中でも積極的な対策を打ち出していくための行政の人材育成と組織改革をすすめる。それと同時に、行政と地域・市民と協力して目指す「まちづくり」にどのように取り組んでいくのか(地域の人材と組織の活性化など)、ということが、あらためて地方自治体の課題とされてきている、と考えられます。

こうしたなか作成される今回の「行財政改革プラン」は、2015 年度から始動する第 9 期総合計画の目標を達成するためには体力ある市政運営が不可欠であると指摘し、今後の行政運営の基本的な考え方を「開かれた市政運営と市民協働」、「チャレンジする組織・人材」、「計画的で持続可能な財政運営」の確立を目指す、としています。

行財政改革プランでは、計画的で持続可能な財政運営の中で、「サービス水準のあり方の検討、受益と負担のバランスの再検討」が盛り込まれています。その内容はまったく不明ですが、たとえばゴミ袋や水道料金などの使用料・手数料について全市的な見直しが進められていくことも考えられます。また改革プランは「超高齢社会の進行に伴う従来の高齢者施策の再検証と見直し」とも記載されています。

今後の具体的な取り組みについては、5 年ごと前期・後期に分かれた「改革実行計画」を策定し、取り組みを進めていくとされています。これらは市民生活に影響をおよぼす課題でもあり、経済情勢や影響を慎重に分析した中で、これらの「改革」がどのように具体化されていくのか注視していく必要があります。

## 今冬の市の除雪費も増額に

根室は雪が少ないのが本当に良いとこだ、というのが自慢の一つでしたが、昨年は春先に毎週のように大吹雪に見舞われ、今年も 1 月 23 日に大変な大雪となりました。交差点や路肩に高い雪山が出来上がり、狭い路地では人も車も移動するのに一苦勞な状況です。

根室市では 2014 年度の当初予算で 4,500 万円の除雪費(民間の重機借上料)を計上していましたが、1 月までに約 9 割を消化したため、1 月 30 日に緊急議会が開催され、増額の補正予算が議案提案される予定です(1/28 時点)

	市の年間積雪量	市の除雪費
2011 年度	183 cm	43,185 千円
2012 年度	182 cm	66,434 千円
2013 年度	271 cm	137,972 千円
2014 年度	(~1月)105 cm	? 千円

## 円滑な除雪作業のために 路上駐車をしなないなど 市民の皆さんのご協力を

路上駐車している車があると、車を傷付ける危険があるため除雪ができません。市内の道路でも路上駐車している車の周辺に雪山が残り、車線を片側つづがしてしまっているなど、交通に危険な状況がよく見られます。

路上駐車はしない、大雪が予想されている前日には近所の空地など安全な場所に移動するなど、市民皆さんのご理解ご協力を。